



定期健康診断の結果から

養護教諭 ○○○ ○○○

4月から実施してきた定期健康診断は、先日の内科検診で終了しました。保護者の皆様には、各種調査票の提出をはじめ、様々な面からご協力をいただきありがとうございました。検査や治療が必要なお子さんには受診のおすすめを渡しています。学校の健康診断は異常の疑いを早期に発見するものであり、受診した結果「異常なし」と言われる場合もありますが、安心して学校生活を送るためにも早めに受診するようお願いいたします。ご家庭と協力しながら、五小っ子の健康のお手伝いをさせていただきますので、健康面で気になることがありましたら、気軽に保健室へご連絡ください。

さて、6月は歯と口の健康週間があり、歯について考える機会が多かったのではないのでしょうか。歯科検診の結果は、全員にお渡ししました。保健日よりでもお知らせしたとおり、治療していないむし歯があった人は全校の23%です。昨年度は47%、秋田県の平均は28%だったので、今年度の歯の状態はよいといえます。永久歯だけでみると、むし歯がない人は91%、治療が必要なむし歯のある人は2%です。小学校の6年間は、永久歯に生え変わっていく大事な時期。今ある歯、これから生えてくる歯を大切にしていきたいものです。むし歯がなくても、むし歯になりかけている歯（CO）のある人が12%いました。COは、ほうっておくとむし歯になってしまうので、一度歯科を受診して相談されることをお勧めします。歯と口の健康は、生涯にわたって全身の健康にかかわっています。年をとってもずっと健康に過ごせるように、食後の歯磨きを習慣づけ、磨き残しが無いよう確認しながら丁寧に歯を磨き、歯と口の健康を守っていきましょう。

教わることについて

3年1組担任 ○○ ○

今年の4月から教師となり早くも3か月が過ぎ、教師として初めての夏を迎えようとしています。小学校の教師となってから、同じく教師として働いていた父親のことをよく思い出します。特に記憶に残っているのが、仕事を終えて帰ってきた父親が疲れを癒やすかのようにステレオから大音量で流していたボブ・ディランの歌です。最近ノーベル賞を受賞したことで話題になっているボブ・ディランですが、私の父親は彼の大ファンです。彼の歌を聴いた事がある方は分かるでしょうが、彼のあの囁いた声というのは一度聴けば中々忘れられるものではありません。そして、それは上手い下手とは別の次元での美しい声です。

毎日のように聞かされていた彼の曲の中で私が特に好きな曲は「don't think twice, it's all right（邦題：くよくよするなよ）」という曲です。私はこの歌を彼の囁いた声で聴いた時に「うんうん、そうだよな」と感心し、これを人生のひとつの教えとしました。

父親はただ大好きなボブ・ディランの歌を流していただけで、それによって私に何かを教えようなどという気は全くなかったでしょう。しかし、私はそこから教えを受けました。

学校で教わることもそのようなことだと私は思います。子どもは身近な大人から良くも悪くも影響を受けそれを自分の中に取り込んでいきます。そしてそれは何かの拍子にふっと表に出てきます。子どもは大人が思っている以上に大人を見ています。教師としてはまだまだ新米の私ですが、「日々の言動には注意して、子どもと関わっていかねばいけない」というのが、私が子どもから教わったことです。

